

高安地域は、駅から遠い場所が多く、移動が不便である。

高安の生物多様性を伝えたいが十分な場の整備ができていない。

高安地域の魅力を、都市部に伝えられていない。

ビジョン (白)

事業 (赤)

地域課題 (黒)

地域の資源 (緑)

都市部の資源 (青)

- シェアサイクル
- キャンプ場
- 高安の史跡
- 農産物
- 高安の自然
- 廃校
- 人口の多い近隣大都市

土砂災害のリスクが高い。

間伐はしているが、材木として使っていない。

きんたい廃校博物館

八尾廃校 SATODUKURI BASE

都市部の住民が高安地域、八尾の生態系資源を知り、関わるきっかけが作られる。ボランティアグループの立ち上げも行うことで、より関係人口が増える。

移住者へヒアリングし発信

既に移住した住民の暮らしを発信することで、これから移住する人、移住したての人に持続可能な都会派里山暮らしを伝える

八尾のモノづくり企業と都会派里山暮らしを体感できる施設

八尾・高安の地域資源を体感できる宿泊施設を作ること、移住するきっかけをつくる。関係人口が増える。

高安地域におけるZEH 宿泊体験

農地の確保

無農薬の農業を増やすことで、ニッポンバラタナゴの生息環境を保全する。移住者が利用可能な農地としても利用する。

きんたい米の販売拡大

地域資源を学ぶ体験型授業

地域の子どもたちを中心に、自分たちが暮らしている地域の魅力を伝えることで定住人口が増える。生態系を守ることにつながる。

剪定枝、間伐材を活用した発電を行い、八尾市内のエネルギー自給率を向上させる

VISION ① 【移住促進】

週末になると若い家族が高安にオーガニックな農業を体験しにきたり、それをきっかけで移住する家族も出てくる。

VISION ② 【持続可能な暮らし】

高安の生態系サービスを利用し、それぞれの家庭がプチ自給自足をしている。

VISION ③ 【生物多様性の保全】

ため池でニッポンバラタナゴが泳ぎまわる景色が当たり前。

MASTER VISION

持続可能な都会派里山暮らしが集まるまち

VISION ④ 【再生可能エネルギー】

高安地域の資源を生かした再生可能エネルギーが八尾市域の工場や家庭で使われている

整備ができる人材

高安の自然

モノづくり企業

森林整備

ニッポンバラタナゴが生息できる環境が守られる。土砂災害などから地域の安全を守る

河内木綿を育てて、商品にもしているが、定期的に販売できる商品ではない。

空き家が増えているが、活用がされていない。

タナゴの保全のために必要なため池が十分に確保されていない

耕作放棄地が増えている。

タナゴの保全のためには、無農薬の農家が増えて欲しい。

河内木綿

河内木綿を活用した商品開発

空き家

タナゴファームでのゼロカーボンパーマカルチャー体験

ため池

ため池の確保

ニッポンバラタナゴが生息できる環境が守られる。

- 枝豆
- モノづくり企業
- 休耕地
- 空き家
- 河内木綿
- 農産物

タナゴの保全のためには、無農薬の農家が増えて欲しい。

地ビールの開発

無農薬・有機の野菜の生産

野菜を使ったレストランの運営

- 小中一貫校
- 河内木綿
- 高安の自然
- 廃校

地域の子どもたちに地域のよさが伝わっていない

- ごみ焼却場
- 造園業
- 間伐材

剪定枝の処理に困っている

八尾市域ではエネルギーのほとんどを外部から購入している